

循環型社会

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会は、経済的な発展をもたらしました。

でも、このままで地球は本当に大丈夫…？

限りある天然資源を有効に使い、環境への負荷を減らしていく。

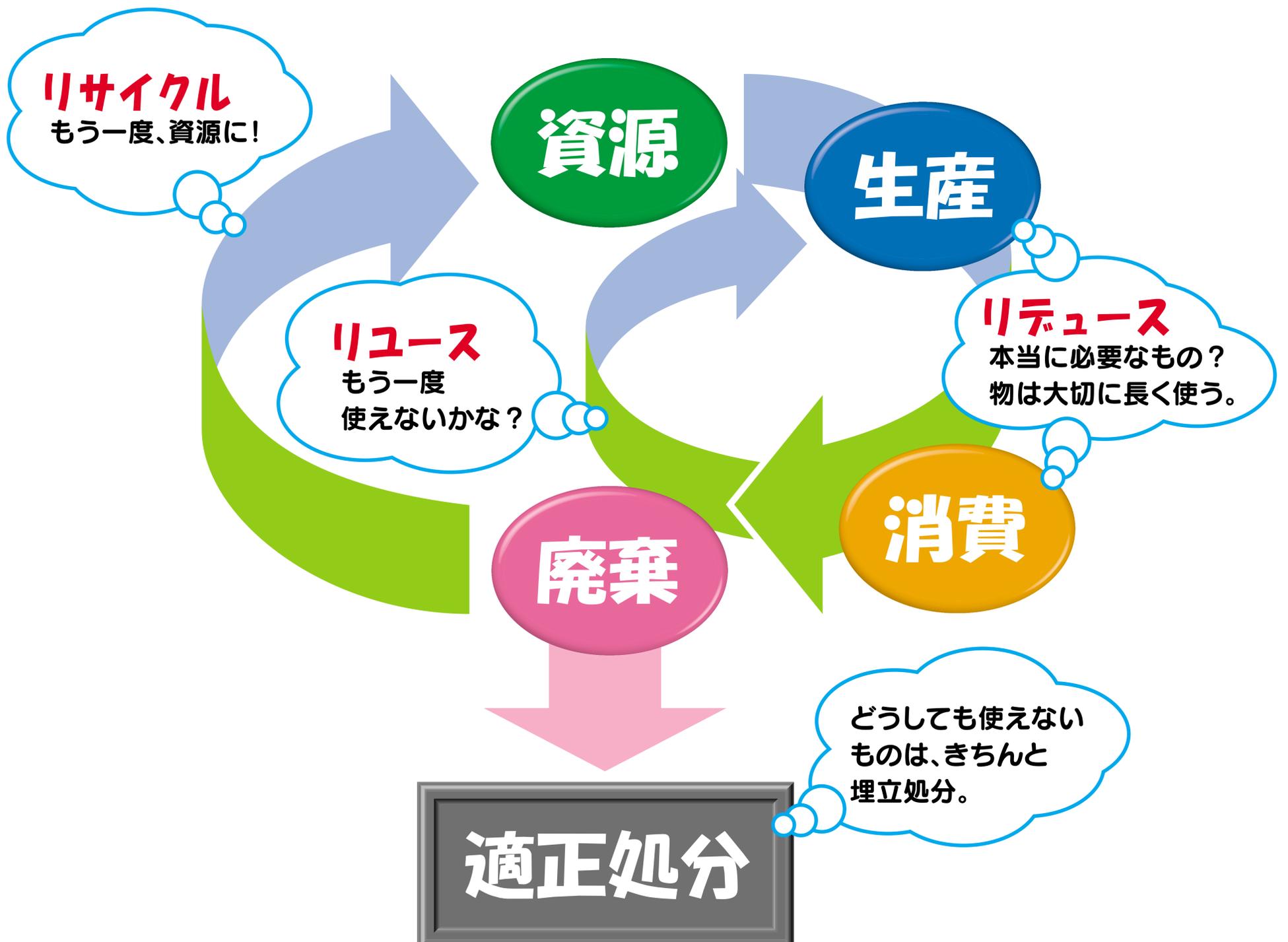
そんな、「使い捨て」の社会から、資源を上手に使う循環型の社会へ。

循環型社会のための3つのR

Reduce (リデュース) ものを大事に長く使い、ごみを減らす。

Reuse (リユース) 同じものを繰り返し使う。

Recycle (リサイクル) 使わなくなったものは資源として再製品化する。



宮城県循環型社会形成推進計画（第3期）

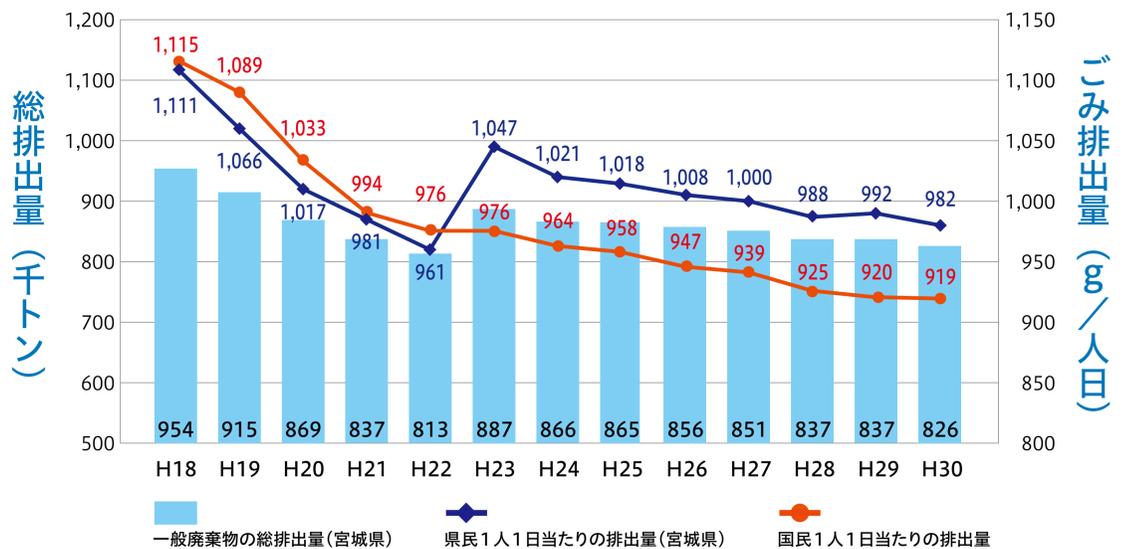
〈ステップアップ！みやぎの3R～皆で築こうみやぎの循環型社会，新たなステージからの進展～〉

県では，令和3年3月に「宮城県循環型社会形成推進計画（第3期）」を策定しました。

- 第1期(H18～H27)：ごみ排出量は3Rの取組により初期に減少したが，東日本大震災の影響によりその後増加。
- 第2期(H28～R2)：排出量は徐々に減少しているが高止まりの状態が続く。



第3期：これまでの取組をより進展させ，プラスチックごみ対策や食品ロス削減など，持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた新たな課題解決にも取り組みます。



ごみの総排出量及び県民1人1日当たりの排出量の推移

基本方針

第3期計画では，県内の廃棄物を取り巻く現状などを考慮しながら，循環型社会の形成をいっそう推進していくため，4つの基本方針を定めました。

1 全ての主体の行動の促進

県民，事業者等がそれぞれの立場に応じて，3Rに継続して取り組んでいけるよう，環境教育や普及啓発を推進します。



2 循環資源の3R推進

3Rの推進に向けて，廃プラスチックや食品ロス・食品廃棄物等，廃棄物の種類に応じた対策を講じていきます。



3 循環型社会を支える基盤の充実

各主体への情報の提供や技術開発への支援等をとおして，循環型社会を支える基盤の充実を図ります。



4 廃棄物の適正処理

不法投棄や不適正処理を防ぐため，適切な指導及び情報提供に引き続き努めます。大規模な自然災害の発生に備えて，平時から市町村，国，関係団体等との相互協力体制の強化及び人材育成を継続していきます。



みやぎが目指す循環型社会に向けた目標値

第3期計画では右表のとおり目標値を設定しました。生活系ごみの目標値は，平成30年度の1人1日当たりのごみ排出量(実績値)を約7.8%削減するものです。

日常生活や企業における取組の中で，「もったいない」の考えのもと，ものを大切に最後まで無駄なく活かしていくよう，計画目標の達成に向けて，皆様のご協力をお願いします。

項目		第3期計画 目標値 (令和12年度)	実績値 (平成30年度)	〈参考〉 第2期計画 目標値	
一般 廃棄物	1人1日当たり排出量 (g/人・日)	910	982	930	
	内訳	生活系ごみ	625	678	645
		事業系ごみ	285	304	285
	リサイクル率(%)	30	25.5	30	
	最終処分率(%)	10.5	11.6	12	
産業 廃棄物	排出量(千トン)	10,000	10,962	10,000	
	リサイクル率(%)	35	35.6	35	
	最終処分率(%)	1	1.7	1	

宮城県食品ロス削減推進計画

食品ロスについては、持続可能な開発目標(SDGs)において言及されるなど、国際的にも重要な課題となっています。「食品ロス削減推進法」や「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」、「宮城県循環型社会形成推進計画(第3期)」などを踏まえ、食品ロス削減に取り組むための「宮城県食品ロス削減推進計画」を令和4年3月に策定しました。計画期間は令和4年度から令和12年度までの9年間です。

●本県における食品ロスの現状

(1) 家庭系食品ロス量

4.5万t、県民1人当たりで換算すると1日約54gの家庭系食品ロスが発生しています。全国値(国民1人1日当たりの約57g)と比較すると、国民平均とほぼ同程度の家庭系食品ロスが発生しているものと推計されます。

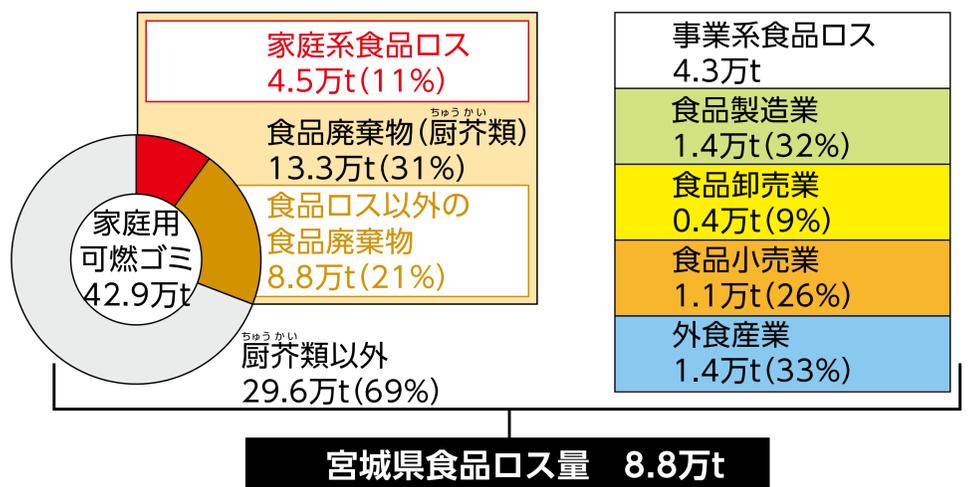
(2) 事業系食品ロス量

4.3万t、県民1人当たりで換算すると1日約52gの事業系食品ロスが発生しています。全国値(国民1人1日当たり約67g)と比較すると相対的に少ないものの、家庭から発生する量とほぼ同程度の食品ロスが発生している状況と推計されます。

●国と本県の食品ロス量推計値

		家庭系食品ロス	事業系食品ロス	食品ロス(合計)
国	発生量	261万t	309万t	570万t
	1人1日当たり発生量	57g/人・日	67g/人・日	124g/人・日
宮城県	発生量	4.5万t	4.3万t	8.8万t
	1人1日当たり発生量	54g/人・日	52g/人・日	106g/人・日

●本県の食品ロス量(令和元年度推計)



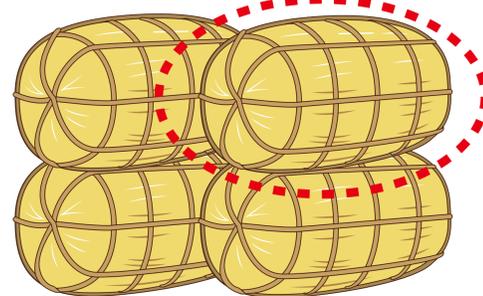
●目標値

	令和元年度(基準年度)推計値	令和元年度1人1日当たり発生量	令和12年度(目標年度)目標値	令和12年度1人1日当たり発生量	基準年度に対する目標年度の削減率
家庭系食品ロス量	4.5万t	54g/人・日	3.2万t	41g/人・日	-29%
事業系食品ロス量	4.3万t	52g/人・日	3.8万t	49g/人・日	-12%
食品ロス量(合計)	8.8万t	106g/人・日	7.0万t	90g/人・日	-21%

国の目標(平成12年度を基準に令和12年度までに食品ロス量を半減)及び県内市町村の食品ロス削減推進計画を踏まえ、本県においては令和元年度(8.8万t)を基準に令和12年度までに7.0万t(1.8万t削減)とすることを目標とします。



8.8万トンってどのくらい?



宮城県の米の収穫量*の約1/4

*令和3年産 333,700t (農林水産省作物統計調査)

食品ロスの削減には、私たち一人一人が「もったいない」の気持ちを持ち、この問題を他人事ではなく我が事として捉え、理解するだけにとどまらず身近なことから行動に移すことが必要です。

多様な主体が連携・協働し、県民運動として食品ロス削減の推進を目指します。

